

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	成人看護援助論Ⅲ (回復過程を経て社会復 帰を目指す患者への看護)	学 期	前 期	長谷川 太一 (看護師) 大石 静香 (看護師) 山田奈穂子 (看護教員) 安部 利一 (臨床心理士) 三島 礼子 (助産師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的 (ねらい)	成人期における対象が中途障害によるセルフケア低下を生じたときに、生活者としてどの ように自身の状態を受け入れながら社会生活への復帰を目指していくのかをテーマとし、成 人である患者の持てる力を引き出していく看護支援を学ぶ。			
目 標	1. 各疾患の病態と検査・治療を理解する。 2. セルフケアの低下状態のアセスメントと評価とは何かを理解する。 3. 外傷や疾患によってセルフケアが低下した中途障害の対象とその家族を理解する。 4. セルフケアの再獲得に向けての看護について学ぶ。			
授 業 計 画	1. 急性期から回復期にある患者の看護 (脳梗塞、脳出血) 担当教員：長谷川 太一			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	脳のしくみと働き	大脳の機能局在、脳血管、脳神経など	講義
	2	脳梗塞・脳出血	病態、検査、治療、看護について	講義
	3	クモ膜下出血	病態、検査、治療、看護について	講義
	4	患者の看護 1	1) 意識障害のある患者の看護	講義
	5	2	2) 運動麻痺のある患者の看護 3) 高次脳機能障害のある患者の看護 4) 嚥下障害、排泄障害のある患者の看護	講義
	2. 障害受容が困難な患者に対し、心理適応に向けた看護 (関節リウマチ、脊髄損傷) 担当教員：大石 静香			
	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	疾患の病態生理	1) 整形患者の特徴と看護の役割 2) 症状とその病態 主要症状：形態の異常、関節運動の異常、 神経の障害	講義
	2	検査・治療・処置を受 ける患者の看護 1	1) 脊髄造影検査を受ける患者の看護	講義
	3	2	2) ギプス固定・牽引療法を受ける患者の看護 3) 深部静脈血栓症の予防・看護	講義
4	3	4) 褥瘡の予防 5) 手術を受ける患者の看護 (手・足・腰部・四肢切断)	講義	
5	4	6) TKA・THAを受ける患者の看護 7) 脊髄損傷の患者の看護 8) 関節リウマチ患者の看護	講義	
3. 中途視覚障害者の障害受容と社会参加への看護 (糖尿病網膜症、緑内障) 安部 利一 担当教員：山田奈穂子				
回数	単元項目	内容	授業形態	
1	糖尿病網膜症、緑内障	疾患の病態生理と症状、検査の看護	講義	
2	糖尿病網膜症、緑内障	視覚障害者の看護	講義・GW	
3	中途視覚障害者の理解	当事者の立場から (外部講師)	講義	

担当教員：三島 礼子			
4. 生殖器疾患と性機能障害の障害受容と心理適応に向けた看護（子宮がん）			
回数	単元項目	内容	授業形態
1	疾患の病態と検査・治療	1) 疾患の理解：子宮疾患、卵巣疾患、 2) 子宮がんの症状とその病態生理 3) 検査と治療・処置	講義
2	子宮がんの手術を受ける患者の看護	1) 術前の看護 2) 手術当日の看護 3) 術後の看護 4) 退院指導	
教科書	1. 系統看護学講座専門 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院 2. 系統看護学講座専門 成人看護学[10] 運動器 医学書院 3. 系統看護学講座専門 成人看護学[13] 眼 医学書院 4. 系統看護学講座専門 成人看護学[9] 女性生殖器 医学書院		
参考文献	「疾患別看護過程＋病態関連図」井上智子／佐藤千史編集 医学書院 その他、授業において、その都度紹介する。		
評価方法	定期試験 100%。 1. 急性期から回復期にある患者×0.3 2. 障害受容が困難な患者×0.3 3. 中途視覚障害者×0.2 4. 生殖器疾患×0.2 それぞれ100点満点の定期試験を行い、4つの試験の点を最終評価とする。		
関連科目	基礎分野：心理学、社会学、教育学、カウンセリング理論と技法 専門基礎分野：解剖生理学、栄養学、病理学、薬理学 専門分野：基礎看護学、在宅看護論、老年看護学、精神看護学		
自己学習に関する指針	解剖生理学・病理学・成人看護学概論で学んだ知識を踏まえて授業を展開する。		
その他の通知事項	随時質問に応じる。		

